

第1回道泉地区協議会 結果について（報告）

日 時	平成 29 年 6 月 9 日（金） 19:00～ 20:25 於道泉地域交流センター
出席者	【地域力推進協議会】 会長以下 2 2 名（名簿は、別紙参照。） 【教育部】 教育部長、学校教育課長、学校教育課主幹、学校教育課専門員
<p>【議題】※司会進行：道泉地域交流センター長 あいさつ</p> <p>1 あいさつ 寺田 和夫会長、 涌井 康宣教育部長 それぞれから挨拶。</p> <p>2 協議及び報告事項</p> <p>(1) 設置要綱について 市から、別紙資料①設置要綱（案）のとおり定め、運営していくことが説明され、承認された。</p> <p>(2) 構成員について 事務局から、推進協議会の役員、ワークショップ各グループ代表、小中学校の代表者、地域の代表者を任命し、今後、協議会を進めていくこと、本日は、2 2 名の出席があることが報告された。</p> <p>(3) 小中一貫校の取り組み状況などについて</p> <ul style="list-style-type: none">・市役所からのお知らせ <p>資料②小中一貫校施設概要 資料③モデル地区における小中一貫校への通学について 資料④モデル地区における小中一貫校及び全市的な小中一貫教育の推進イメージ 資料⑤隣接学校選択制における優先入学について 資料⑥新しい小中一貫校の整備に向けた基本構想について 資料⑦瀬戸市の適正規模・適正配置及び小中一貫校（一貫教育）Q&A 資料⑧未来を拓く子どもたちのために新しい瀬戸の教育</p> <p>市から別紙資料②～⑤について説明された。（資料⑥～⑧は配布のみ。）資料②については、①大きな場所・位置の変更は不可能であり、例えば、新校舎を現祖東中学校グラウンドに移転すること、②構造上の制限があり、例えば、全面木造は、メンテナンスに係る費用面から不可能であることが説明された。これらを踏まえて、ご意見、お気づきの点がある場合は、今月中に、市に伝えていただくように依頼され、事務局でとりまとめ、市に連絡することとなった。その後、質疑応答に入った。</p> <p>質疑の内容は以下のとおり。</p> <p>【質疑内容】</p>	

質問1：通学路について、路線バスの活用とあるが、有料か、無料か聞きたい。有料であれば、隣接学校選択制度の活用を考えたい。バスは、無料にしてほしい。・・・要望

⇒回答1：資料③で提示させていただいた進め方に従い、決め方も含めてご意見を伺いたいと考えている。

質問2：(スクールバスについて) 予算は、確保されているのか。

⇒回答2：市は、単年度予算であり、議会の承認も必要になる。現時点で予算を確保していると言えないが、6月から、向こう3年間の中期事業計画を策定していく中で、必要な予算については、要求していく。

質問3：資料③のステップ1について、他の地区とのバランスとはどういうことか。

⇒回答3：全市的な児童生徒の通学の状況、例えば、他の地域でも現時点1.5kmを超える距離を歩いて通学している児童生徒がいることなどの現況を踏まえて議論を進めること。

質問3-1：モデル地区であるということで、施設も、跡地利用も、通学も他の参考になる。

これがうまくいかないと他の地域でも上手くいなくなるのでは、となってしまうので、横並びというよりは、他の地区からも評価されるようにしてほしい。・・・要望

⇒回答3-1：要望として承る。

質問4：敷地内の道路はどうなるのか。子どもと車の一般車両の通行はどうなるのか。

⇒回答4：敷地内の道路は、一般車両の行き来はできないようにする予定である。校舎への進入路についても未定な部分があるが、工事期間中、開校後いずれも児童・生徒が安全に歩くことができるようルートを考えていきたい。

質問4-1：現状の敷地内の道路は、活かすということか

⇒回答4-1：その通りである。できるだけ大幅な土地の改変、造成を行わないように工事を進めたいと考えている。

質問5：(通学路の合同点検について) なぜ、夏休みに実施するのか。いつ頃スケジュールが分かるのか。

⇒回答5：既設の学校については、夏休みに実施しており、関係機関とのスケジュールの調整が必要なことから、最短で実施できるタイミングであると考えている。実施スケジュールは、遅くとも次回の地区協議会までにお示しする予定。

質問6：資料③について(スクールバスを利用できる等)判断基準、考え方の理論的な裏付けを明示してほしい。県とか警察の持っているガイドラインがあれば教えてほしい。・・・要望

⇒回答6：要望として承る。基準や、考え方は、様々なご意見を伺いながら作成していきたい。

質問7：危険箇所を書き込めるようにしたマップと、それをリスト化して、今後、どういう管理をしていくのか分かるものを作成して欲しい。・・・要望

⇒回答7：要望として承る。

質問8：開校までに、通学の安全対策について潰しこめないものを想定しているのではないか。その場合の対策はどうするのか。開校までにやれる、やれないの目途が既にあるならば、やれない場合の対策も考えて欲しい・・・要望

⇒回答8：要望として承る。すぐやれること、道路整備に関する道路用地の確保が難しいなど、時間がかかるものを整理してお知らせしていく。時間がかかるものは、暫定対策等も併わせて検討し、内容をお知らせしたい。

質問9：資料②について、意見を出そうにも情報が足りないので、意見が言えない。

⇒回答9：例えば、駐車場の設定が校舎から離れていることや、グラウンドが小中一緒になっていることについて、といったご意見をいただければと思っている。

質問10：子育て支援グループの活動を行っている。未就学児童の保護者も関心があるであろうし、民生委員児童委員等も小中一貫校の情報について聞かれることがあるようだ。情報を提供して欲しい。資料④に基づいて、情報も提供されると考えてよいか。ホームページでも公開されるか。

⇒回答10：できる限り、そうしていきたい。また、今年度4月から3回ほど小中一貫校に関する個別相談会をやっている。今後も、未就学児童の保護者の方向けの個別相談などもやっていきたいし、民間も含めた保育園園長向けに情報提供などを適宜行い、幅広く実施していきたい。

質問11：できるだけ多くの情報を、早めに提供して欲しい。市民は、広報せとをしっかりと読むべきであると考えている・・・要望

⇒回答11：要望として承る。

質問12：市が大きな予算を使うプロジェクトなので、真剣に進めて欲しい。回答が曖昧にならないようにして欲しい・・・要望

⇒回答12：要望として承る。

質問13：小中一貫教育は、他の地域でも同じ教育が受けられるのか。

⇒回答13：小中一貫校における小中一貫教育と、他の既設校の小中一貫教育は、目指すところは同じである。英語、郷土学習など縦のつながりを意識しながら進めることになる。現在その内容について検討中である。

質問 14：小学生と中学生は、同じ体育館、同じグラウンドでは、危険ではないか。それぞれ専用の方が良いのではないか。

⇒回答 14：学校の安全面について、多面的な視点で検討し、検討結果とともに、根拠も明らかにしてお知らせする。

質問 15：モアスクール、学童はどうなるのか。新設校なのか、今の道泉小学校でやるのか。市の方向性が聞きたい。

⇒回答 15：新設校にモアスクールを設置する予定だが、場所は、地区ごとにご意見を伺い需給バランスを見て、決めていきたい。

質問 16：通学路の問題が保護者も一番気になることだが、他の地域では、有料のタクシーを使って通学している子どももいると聞く、有料なら早めに知らせてほしい。曖昧な説明はやめて欲しい。・・・要望

⇒回答 16：要望として承る。全ての地区に対して、同じ基準、考え方をベースに説明していく。

質問 17：議事録は、作るのか。

⇒回答 17：1週間程で作成し、事務局と調整した後、お知らせできる形にしたい。

(4) 今後の予定について

市から今後、月1回のペースで地区協議会を開催することが提案され、了承された。

(5) その他

センター長から、今後、道泉地区協議会として、意見要望をまとめ、市に対して提出していくことが確認された。

■第2回 道泉地区協議会

日時：平成29年7月11日（火）午後7時から

場所：道泉地域交流センター

備考